



白馬童子

糸魚川市立糸魚川小学校

学校だより 第 11 号

令和 6 年 3 月 21 日

TEL:025-552-0042 FAX:025-552-1304 E-mail:itosyo@itoigawa.ed.jp

(HP)<https://www.itoigawa.ed.jp/itosyo/>(携帯)<http://itoigawa.ed.jp/itosyo/otayori/i/>

素敵な光景 ありがとう (令和5年度を終えるにあたり)

校長 冨永 浩文

学習、運動、遊び、清掃活動…。どのような場面であれ、子どもたちのまじめで一生懸命な姿には思わず頬が緩み、胸が温まります。優しく、思いやりのある言動には目頭が熱くなります。そんな光景を、今年度も春から見つめてきました。正直、見ていて歯がゆい思いをする光景もありました。それだけに、ある時、ある場所で、偶然にも（直接かかわっている教職員には必然なのだろうけれども）素敵な光景に出会うと、幸せな気持ちに包まれ、辛さや不安も忘れてしまいます。思わず、皆に「ありがとう。」と言ってしまう。

そんな光景がまた見られました。それは、8日（金）に行われた6年生を送る会でした。従来の集会形式に戻しての実施でした。5年生の子どもたちの自覚と意欲に満ちたリーダーシップ。3学期に入ってプロジェクトを組んで準備を進めてきました。加えて、1年生から4年生の子どもたちの色々な趣向、工夫の詰まった感謝とお祝いの気持ちの表現。言葉の一つ一つに心がこもり、表情も豊かでした。そして、それに応える6年生の、頼もしく力強い返礼の発表。誇らしさとちょっとの照れくささとが入り混じった、何とも言えない笑顔。和やかさと一体感に、寒の戻りで冷たいはず



おめでとう ありがとう 6年生

の講堂は、ホカホカ温かい春の陽気を感じさせました。皆が「好き（すき）」な学校は、皆の「手（て）」が加わり、「素敵（すてき）」な学校になりました。（令和5年4月25日参照）およそ1時間半、様々に展開された光景は幸福に満ちていました。全校の皆さん「ありがとう。」

朝の校門、今日も素敵な光景に出会える（かもしれない）一日が始まります。「あらあら、またあの登校班、朝みんなでスキップをしながら登校してきました。」冷たく澄んだ空気に、機関車のように白い息をもくもくと吐いて。「危ないから歩いてね。」と注意する私の声に、「はい。」と笑顔で答えます。心配し、注意しつつも、微笑ましくて、「今日も元気に登校してくれて、ありがとう。」と思うのです。

朝陽は既に麓（いらか）の波の上にあり、北アルプスを目指して飛び跳ねようとする白馬童子を優しく照らしていました。そして、また、それぞれに、それぞれの春がやってきました。

令和5年度も保護者の皆様、地域の皆様に支えられ、22日（金）の第77回卒業式をもって、全ての教育活動が終了となります。一年間本当にありがとうございました。令和6年度もよろしくお願いいたします。